

平成24年度 施策達成度評価シート (平成23年度実績評価)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
2	安全な暮らし	23	市民生活を守る安全対策の充実

施策主管部	市民部	評価者(施策統括マネージャー)名	市民部次長 久保 実
-------	-----	------------------	------------

1 施策の目的(目指す姿)

対象 (誰を, 何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市民	身近な犯罪や事故等から守られる

2 達成度

(1) 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
人口1万人あたりの交通事故発生件数	件	↓	42.4	54.0	35.9	54.0	54.0
人口1万人あたりの刑法犯発生件数	件	↓	86.8	105.6	79.6	105.6	105.6
消費生活相談の解決率: 解決した件数/消費生活相談件数	%	↑	98.60	99.00	98.20	99.00	99.00

(2) 近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等
人口1万人あたりの交通事故発生件数	青森市 42.3件 秋田市 35.2件 盛岡市 35.9件
人口1万人あたりの刑法犯発生件数	青森市 68.0件 秋田市 64.7件 盛岡市 79.6件
消費生活相談の解決率: 解決した件数/消費生活相談件数	青森市 98.8% 秋田市 99.6% 盛岡市 98.2%

3 達成度評価結果

取組内容と成果, 成果を得られた要因	<ul style="list-style-type: none"> ・盛岡市の人口1万人当たりの交通事故件数は35.9件で, 全国(54.0件)と比較して低い状況ではあるが, 近隣自治体と比較して高い状況となっている。高齢者が交通事故被害者や加害者となる割合が高いことから, 高齢者向けの交通安全教室の開催や, 警察署・自動車教習所と連携し, 高齢者を対象に自動車運転技能講習会を実施するなど交通事故の防止に努めた。 ・盛岡市の人口1万人あたりの刑法犯発生件数は79.6件で, 全国(115.6件)と比較して低い状況ではあるが, 近隣自治体に比べると高い状況である。防犯活動は地域ごとの日常の取組みが重要であることから, 盛岡市防犯活動推進計画に基づく防犯パトロール用品の支給や防犯知識を高める講習会の開催など防犯活動の支援を行った。 ・22年度から盛岡広域圏8市町村で消費者行政の共同実施に取り組み, 盛岡市消費生活センターはその中核を担うこととなり相談体制の充実によるきめ細かな対応と消費者教育啓発活動を実施してきた。その結果, 23年度における消費生活相談の解決率は98.2%となり, 目標値としていた99.0%は下回ったものの高水準を維持している。
翌年度以降の課題, その要因	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全対策について, 高齢者が関係する交通事故の割合が多い状況が続いていることや, 道路交通法の改正により高齢運転者に対する規定が見直されたことから, 高齢者の交通安全意識の啓発に取り組む必要性がますます高まってきている。 ・防犯対策について, 犯罪件数は前年度に比べて減少しているが, 子どもへの声かけ事案などの不審者の情報が後を絶たない状況となっており, 警察, 防犯等の関係団体, 学校, 地域が一体となって防犯意識の高めていく取組みが必要である。 ・消費生活相談には年々複雑, 多様化した案件が寄せられてくるとともに, 消費者関連法も2~3年で改正されていることから, 専門機関が実施する各種研修にできるだけ派遣し, 相談員のスキルアップを継続して図ることが必要である。

4 成果達成への基本事業の貢献度

基本事業		比重
コード	名称	
231	交通安全の推進	35
232	防犯対策の推進	30
233	消費者の自立支援	35

平成24年度 施策達成度評価シート(平成23年度実績評価・基本事業の状況)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
2	安全な暮らし	23	市民生活を守る安全対策の充実
基本事業			
コード	名称		
231	交通安全の推進		

施策主管部 市民部	評価者(施策統括マネージャー)名	市民部次長 久保 実
-----------	------------------	------------

1 基本事業の目的(目指す姿)

対象 (誰を,何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市民(道路利用者)	交通事故から守られる

2 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
人口1万人当たりの交通事故発生件数:当市の 数値/全国平均(人口は10/1現在)	%	↓	74.4	83.2	66.5	83.2	83.2
人口1万人あたりの交通事故発生件数	件	↓	42.4	54.0	35.9	54.0	54.0

3 役割分担分析

		役割の内容	役割分担 比率(%)
各主体の 役割の状況	市	交通安全についての意識啓発運動及び交通安全教室を通じての交通安全教育,また市道の道路管理者及び自転車の安全利用を推進する立場から市の果たす役割は大きい。	20
	国・県・ 他自治体	交通安全の基本は,事故に遭わない環境づくりであり,道路管理者としての国,県及び取締り機関としての警察等の役割は大きい。	60
	市民・NPO	市民一人ひとりが事故に遭わない,事故を起こさないとの意識を持ち,交通安全に努めることが重要である。	10
	企業・その他	鉄道・バス・タクシー等の交通事業者や運輸事業者などの企業も一定の責任を負わなければならない。	10

平成24年度 施策達成度評価シート(平成23年度実績評価・基本事業の状況)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
2	安全な暮らし	23	市民生活を守る安全対策の充実
基本事業			
コード	名称		
232	防犯対策の推進		

施策主管部 市民部	評価者(施策統括マネージャー)名	市民部次長 久保 実
-----------	------------------	------------

1 基本事業の目的(目指す姿)

対象 (誰を,何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市民	犯罪から守られる

2 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
人口1万人当たりの刑法犯発生件数:市内の警察署の数値/全国平均	%	↓	69.7	75.0	68.9	75.0	75.0
人口1万人当たりの刑法犯発生件数	件	↓	86.8	105.6	79.6	105.6	105.6

3 役割分担分析

		役割の内容	役割分担 比率(%)
各主体の 役割の状況	市	地域自治組織,警察,防犯団体等が連携した防犯活動の推進のため,行政からの支援は重要である。	20
	国・県・ 他自治体	身近な犯罪から守られるためには,警察等の犯罪抑止及び取り締まりによるところが大きい。	50
	市民・NPO	市民自らが防犯意識を持ち,日常から犯罪の抑止に結びつく行動を心がけることが安全な暮らしに繋がる。	20
	企業・その他	企業が果たすべき社会的責任は,最近取り上げられてきており,企業の役割も大きくなっている。	10

平成24年度 施策達成度評価シート(平成23年度実績評価・基本事業の状況)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
2	安全な暮らし	23	市民生活を守る安全対策の充実
基本事業			
コード	名称		
233	消費者の自立支援		

施策主管部	市民部	評価者(施策統括マネージャー)名	市民部次長 久保 実
-------	-----	------------------	------------

1 基本事業の目的(目指す姿)

対象 (誰を,何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市民	消費生活に係るトラブルを抱えている市民を救済する。

2 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
消費生活相談の解決率:解決した件数/消費生活相談件数	%	↗	98.60	99.00			99.00

3 役割分担分析

		役割の内容	役割分担 比率(%)
各主体の 役割の状況	市	消費生活相談、消費者教育の実施、消費生活全般に関する知識の普及及び消費者の自立に必要な情報の提供。消費者の利益の擁護及び増進に関する施策の推進。	60
	国・県・ 他自治体	消費者の利益の擁護及び増進に関する施策の推進	10
	市民・NPO	市民(消費者)は消費生活全般に関する知識の取得及び情報の収集等、自主的な行動に努める。消費者団体等は消費生活に関する情報の収集及び提供並びに意見の表明、消費者に対する啓発及び教育、消費者被害の防止及び救済のための活動など消費生活の安定及び向上を図るための行動	10
	企業・その他	消費者の安全及び消費者との取引における公正の確保。消費者との間に生じた苦情等に対する適切な処理。国または地方公共団体が実施する消費者政策に対する協力	20